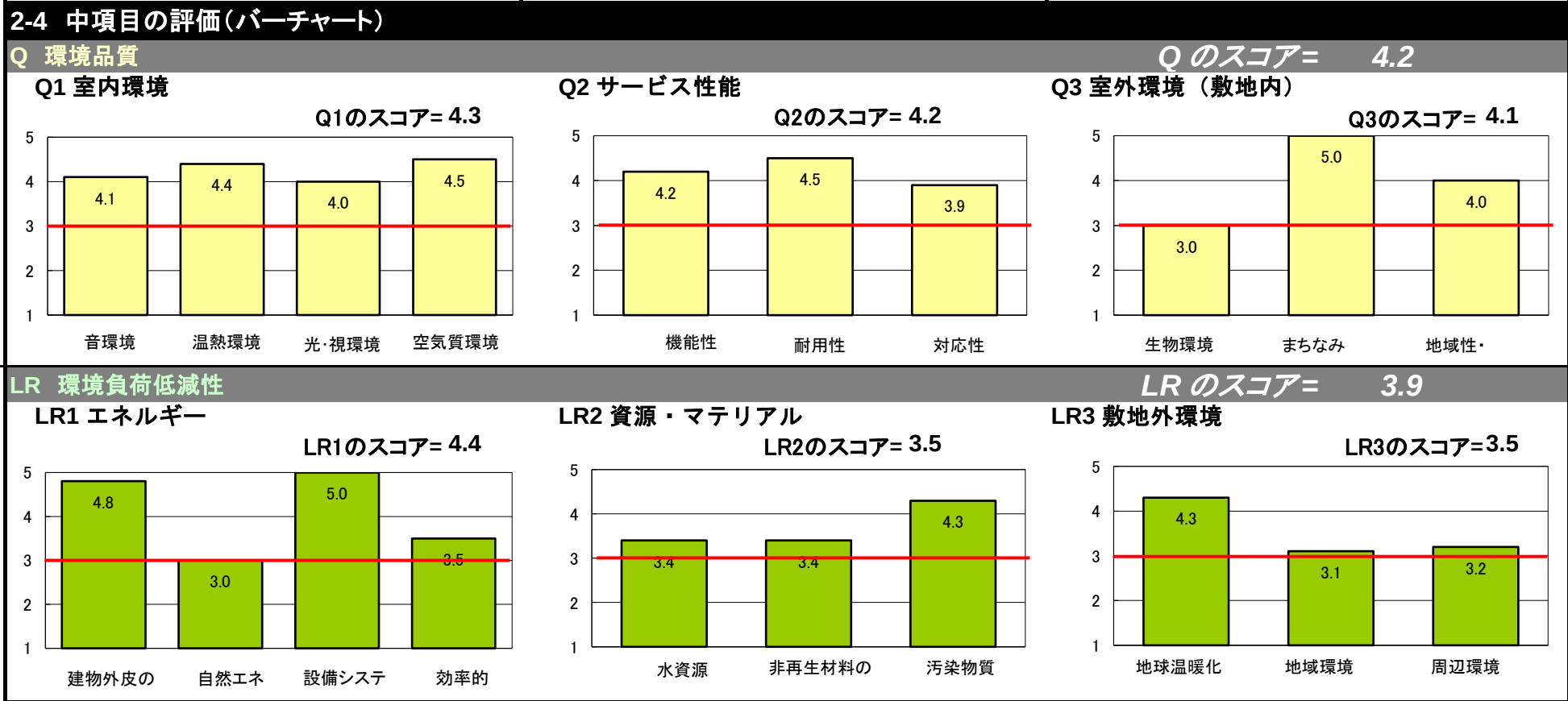
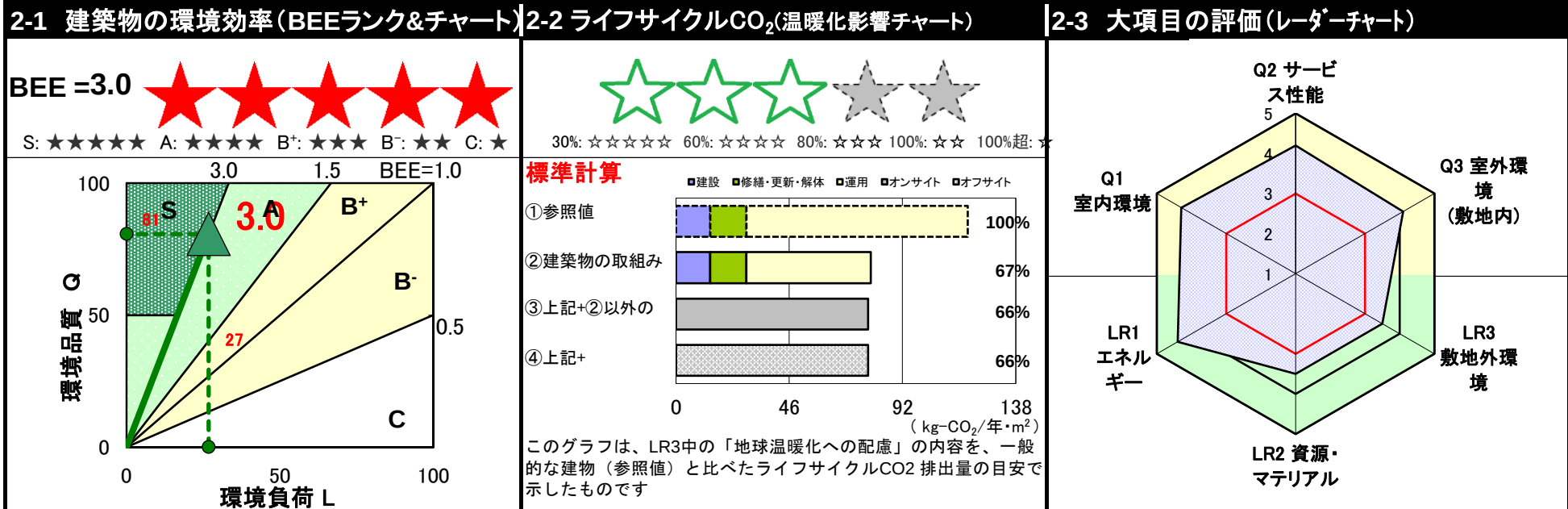


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市複合施設建設工事	階数	地上9F 地下1F	
建設地	厚木市中町一丁目717番地1ほか	構造	S造	
用途地域	防火地域、商業地域	平均居住人員	3,560 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,500 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年6月1日	
敷地面積	8,311 m ²	作成者	清水建設一級建築士事務所	
建築面積	5,609 m ²	確認日	2024年6月14日	
延床面積	47,764 m ²	確認者	清水建設一級建築士事務所	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
厚木市民が親しみを感じ、訪れることで気付きや学び、創造を享受できる庁舎を目指した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
機能面を重視し、吸音性の高いタイルカーペットや天井へ岩綿吸音板を採用	執務スペースに対し、十分なリフレッシュスペースを確保。建物コンセプトに合うよう、内装計画を事前に検討し反映した。防災無線発信拠点として機能するよう、免震装置を設けている。	街並みとの調和を図るため、外壁色を配慮、植栽による良好な景観形成している。厚木に根付いた農民文学や風土を取り込んだエントランス空間を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
廃熱投入型吸収式冷温水発生や地中熱ヒートポンプチラーを採用し省エネ化を図っている。	躯体+LGS+仕上の構成とし、部材の再利用可能性向上に取り組んでいる。	事前に屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される